

研究講習事業報告

学発番号: 学21-032★(日臨技推進事業)
事業名: 令和3年度 京臨技遺伝子検査講演会
日時: 令和4年2月19日(土) 13:30～17:00
場所: Web開催
主題1: アフターコロナの遺伝子検査を考える～Amoy Dx肺癌マルチ遺伝
講師1: 多和田 泰樹 氏(シスメックス株式会社)
主題2: アフターコロナの遺伝子検査を考える～造血器腫瘍遺伝子検査への活用編
講師2: 多々見 寛満 技師(京都大学医学部附属病院 検査部)
主題3: アフターコロナの遺伝子検査を考える～感染症遺伝子検査の今後
講師3: 山田 幸司 技師(京都府立医科大学附属病院 検査部)
参加数: 総数:24名(京臨技会員:20名)
報告者: 白井 洋紀(京都第一赤十字病院)

以下、講演内容など

今回は、テーマを「アフターコロナの遺伝子検査を考える」とし、3名の先生にご講演頂きました。主題1では、新規肺癌マルチ遺伝子パネル試薬について、ゲノム医療が発展する昨今において新規情報を提供して頂きました。主題2では、造血器腫瘍遺伝子検査について、遺伝子検査の基礎から臨床的意義をご講演頂き、改めて勉強になる機会となりました。主題3では、感染症分野において、迅速に結果報告できる遺伝子検査の重要性についてご講演いただき、表現型検査と遺伝子検査の使い分けを考える上でも、運用の参考となる情報を提供して頂きました。

